

市政だより 小石ひろかず

《平成24年10月号》

発行所

小石ひろかず後援会

鳥栖市萱方町151-9

TEL 0942-83-8523

FAX 0942-82-6676

Vol.30

◇鳥栖市議会・九月定例会報告

平成二十四年9月定例会では、鳥栖市一般会計補正予算（第2号および第3号）など、執行部提出の12議案、先決処分事項の報告4件を討議し、他に「鳥栖市議会の本会議場に国旗の掲揚を求める請願書」を休会中に開く審査特別委員会に付託、「給食センター建設計画の撤回と安全安心の学校給食を求める請願」を不採択とし、昨年度の「決算関係10議案」は決算特別委員会に付託し、「地方財政の充実・強化を求める意見書」など3件を原案のとおり可決。

他に意見書1件を否決し、人事案2件に同意、一般質問ならびに常任委員会の審査・討議が行われ9月21日に閉会しました。

その中から主なものを報告いたします。

《平成二十四年九月補正予算》

補正予算「第2号・第3号」の総額は、歳入・歳出ともそれぞれ8億9722万2千円で、既決の予算と合わせると本年度の予算総額は230億141万9千円となり、対前年度同期の伸び率は3%の増となりました。

〈主な歳出〉

○農林課 農地・水保全管理支払交付負担金（新規） 360万9千円。○建設課 道路側溝等工事費 800万円、生活道路モデル事業費 350万円、交通安全施設工事費 200万円。○教育委員会・総務課 食育調査等委託料（新規） 120万円、学校給食センター建設事業（新規） 1億2000万円。○文化芸術振興課 音楽祭委託料 800万円など。

《小石ひろかずが所属する 総務常任委員会》

○財政課 減債基金積立金 4億4200万円、公共施設整備基金積立金 2億円、財政調整基金繰入金 895万5千円、議案甲第28号「鳥栖市証明等手数料条例の一部を改正する条例」他4議案を原案のとおり可決しました。

議案外で「サガン鳥栖練習環境整備に関する進捗状況について」

報告。現在、実施計画が終了し、工事着工の準備を行っている。

○グラウンド整備工事9月14日入札終了／工事名・鳥栖スタジアム北部グラウンド整備土木工事 契約金額2千866万5千円、請負

業者 ㈱龍建設。○防球フェンス工事 契約金額4千565万4千円、請負業者 ㈱篠原建設。○芝生工事 契約金額4千770万5千円、請負業者 ㈱飛鳥緑化建設。○芝生工事 契約金額4千32万円、請負業者 ㈱高取造園土木。○散水設備工事 契約金額2千989万3千円、請負業者 ㈱坂口組。○舗装工事 契約金額2千475万9千円、請負業者 ㈱大島組。なお、クラブハウスの建設などは、9月27日に入札予定。

今年、J1に昇格し、現在上位で活躍するサガン鳥栖は、勝ち点40をあげJ1残留をほぼ確定しました。おめでとうございます。

〔小石ひろかず・一般質問〕

◎消火器等の廃棄料の

返還について！

〔質問要旨〕

丸信商店の代表者は、平成22年2月に教育委員会・総務課の消防用消耗品の購入予定価格設定の際に、見積書を提出した時点で、制度の改正があったことを知っていたのではないかと。そうでなければ見積書の中に特定窓口（引取場所

指定業者)と同様の廃棄料金を記入できないのではないか。

【答弁要旨】

小中学校の消防用消耗品の購入事業の見積書を提出される時点において、丸信商店の代表者が制度の改正についてどこまで認識されていたかどうかにつきましては把握できていませんが、制度等については承知されていたものと考えております。しかしながら市と丸信商店における制度に関する情報交換・情報提供が十分に行われなかったことから、一部適性を欠く事務処理を行うことに至ったものと考えております。

◎鳥栖のまちづくりと

歴史文化講座について

【質問要旨】

六月定例会で、勝尾城筑紫氏遺跡など、歴史遺産に目を向けた「歴史のまちづくり」について質問しました。

答弁では、「具体的には、鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座あるいは史跡見学会や文化財展示会の開催、講演会や

シンポジウムの開催など、さまざまな事業を通して市内の歴史的文化遗产に触れる機会を設けています」とのことでしたが「鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座」について具体的な内容をお伺いします。

【答弁要旨】

「鳥栖のまちづくりと歴史文化講座」は、勝尾城筑紫氏遺跡が発掘調査によって脚光を浴びたことを契機として、その成果の公表を図るとともに、鳥栖の中世についての理解を深め、さらには鳥栖のまちづくりに寄与することを目的として、平成元年から開催している連続講座で、今年度で二十四年目となります。企画・運営は平成二十三年度までは、市が鳥栖歴史研究会に委託してきましたが、今年度からは鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座実行委員会の企画運営で実施されています。講座は「戦国の城と城下町」「鳥栖の中世」「鳥栖の石造文化」「鳥栖学」など、主に戦国時代を中心とした年度毎のテーマを設定し、これに沿

った内容の室内での講座と、現地での研修を交互に、年間8回から10回程度の講座が実施され、郷土の歴史や文化に関心のある市民の方々に、根強い人気を戴いております。

【再質問要旨】

いろいろ再質問の後、要望としてラ・フォル・ジュルネを中心とした文化のまちづくり、サガン鳥栖・久光製菓スプリングスなどスポーツのまちづくりに加え、歴史遺産に目を向けた歴史のまちづくりも今後の鳥栖市が進むべき方向の一環として重要であり、そのためには歴史遺産の活用と、その基礎となる歴史遺産の研究を積極的に行い、地元住民の参加意欲の向上を強く要望しました。

◎市道の付け替えの

変更について

【質問要旨】

私のもとへ、何回か匿名の電話があり、内容は3級市道2183号線の一部が付替えによって変更されたが、付替え後の市道は通行の危険度が増したのではないか、との意

見でした。この市道には付替えをせざる何らかの支障があったのか。また市道の付替えを申請した理由をお伺いします。

【答弁要旨】

当該路線の市道路線の廃止認定については、廃止とする区間の道路幅員は2.2m、2.6m程度で、車両の通行は可能ですが、離合が難しい状況でした。市道の付替えの理由は、申請者から付替え前の市道と隣接する申請者の自己所有地との一体利用のための目的と、付替えによって市道が4.756mになることから機能の向上が見込まれるとの判断によって、付け替えを行いました。

(以上)

小石ひろかずが長年にわた

り質問を続けてきた「勝尾城筑紫氏遺跡」の「整備基本計画」がまとまったようです。

ようやく鳥栖市の貴重な文化遺産のひとつが活用される第一歩が始まりました。市民の財産である文化遺産の積極的な活用を期待します。